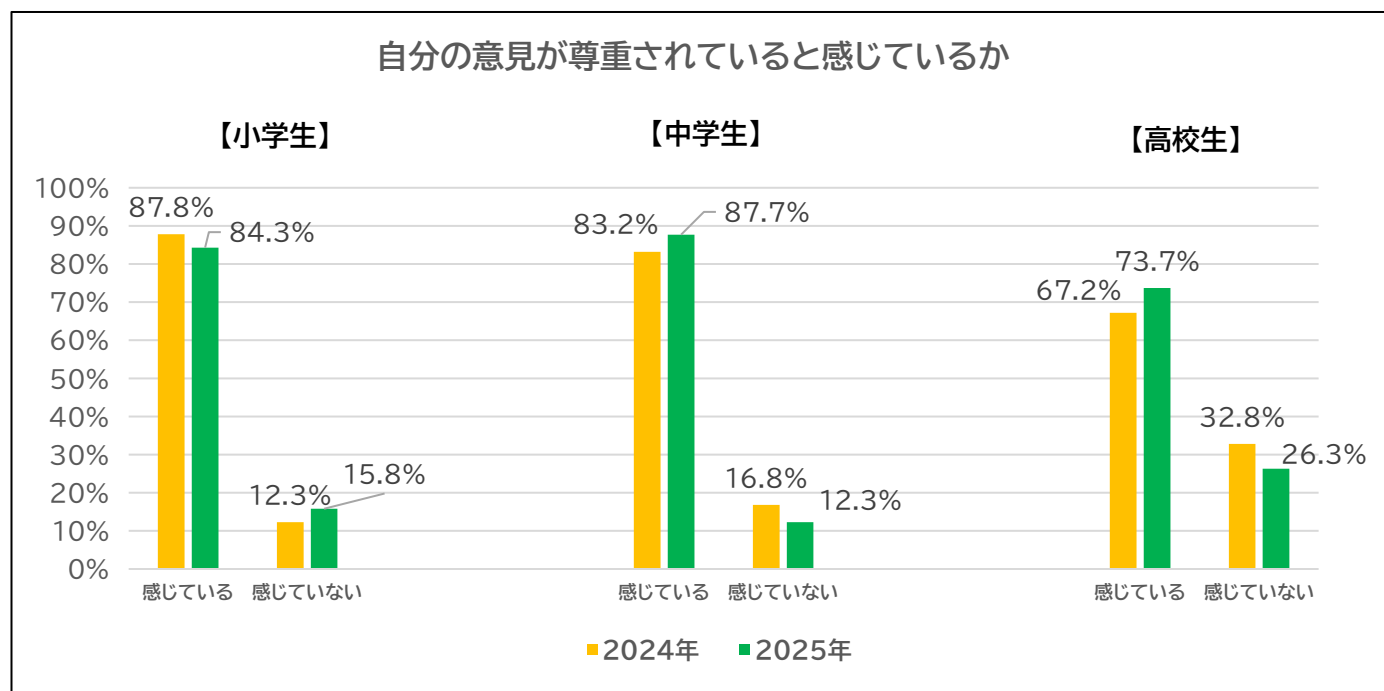


「自分の意見をまわりの人が尊重してくれているか」2024→2025 の変化

小学生はわずかに低下、中学生・高校生では上昇傾向

「子どもの意見の尊重」は、子どもの権利条約の 4 つの原則の一つで、こども基本法にも基本理念として明記されています。子どもたちはいま、「自分の意見がまわりの人に尊重されている」と感じているでしょうか。白書シリーズでは 2024 年と 2025 年に連続して小学生 1200 人・中学生 600 人・高校生 600 人にアンケートを実施しました。



【小学生】 8割以上が「自分の気持ちを大切にされている」と感じているものの、水準がやや低下

小学生	2024 年	2025 年
感じている	87.8%	84.3%
感じていない	12.3%	15.8%

小学生では、「自分の気持ちを大切にされている」と感じる割合が、3.5 ポイント減少しました。もともと 9 割近の高水準でしたが、わずかに低下しています。

【中学生】 8割以上が「自分の意見を大切にされていると感じている」、9割近くまで上昇傾向

中学生	2024 年	2025 年
感じている	83.2%	87.7%
感じていない	16.8%	12.3%

中学生では、「自分の意見を大切にされている」と感じる割合が 4.5 ポイント増加しました。2024年の小学生と同水準まで上昇している点が注目されます。

【高校生】 7割以上が「自分の意見を尊重されていると感じている」、改善幅が中学生を上回る

高校生	2024 年	2025 年
感じている	67.2%	73.7%
感じていない	32.8%	26.3%

高校生では、「自分の意見を尊重されている」と感じる割合が 6.5 ポイント増加しています。全体数では小中学生より低いものの、改善幅が大きく、約 4 人に 3 人が「尊重されている」と感じるようになっていきます。

詳しくは Web 版のデータをご覧ください。

[小学生白書2024](#) [小学生白書2025](#) [中学生白書2024](#) [中学生白書2025](#) [高校生白書2024](#) [高校生白書2025](#)